



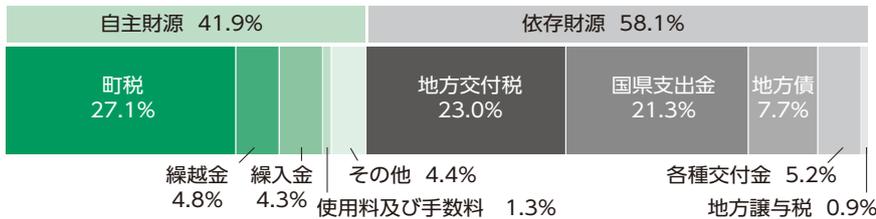
平成 28 年度

# 決算報告

9月の定例議会で、平成28年度の一般会計と3つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

問い合わせ 総務課

## 一般会計収入総額 106 億 741 万円



## 一般会計支出総額 102 億 7,579 万円



実質収支は  
2億7737万円の黒字

平成28年度の一般会計決算額は、前年度に比べて収入・支出ともに増加し、過去最大の規模となりました。収入と支出の差引額から平成29年度に繰り越す必要がある財源の5425万円を除いた実質収支額は、2億7737万円の黒字となりました。

### 住民が夢や希望を 持つように

平成28年度は、第5次総合計画後期基本計画のスタートの年度であるとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を実行に移す年度でもありました。人口減少に対応し、住民が夢や希望を持てるように「住みよさブランドの確立」や「町を愛する人を育て、絆をつなげ、広げること」を視点として、それぞれの施策に取り組みました。

特徴的なものとして、第5次総合計画の重点プロジェクトとして計画的に進めてきたJR海老津駅南側の道路、広場、自由通路の整備が完了しました。また、観光ステーション北斗七星を拠点とした町の魅力発信や岡垣町が先進的なモデルとなるような中学校での特色ある英語教育改革を進めました。



## JR海老津駅南側道路等の整備

4億6,674万円

平成 23 年度から整備してきた海老津白谷線道路、海老津駅自由通路、駅南側広場が完成。車両が通りやすくなり、交通渋滞も緩和されました。また、自由通路ができたことで、高齢者や自転車を利用する人が踏み切りを渡らず、安全に通行できるようになりました。

今後、主要な道路を結ぶ計画や国道3号岡垣バイパスの4車線化の整備を促し、駅南側地域の立地条件を向上させることで、質の高い宅地の開発や企業の誘致につなげていきます

夢や希望を持てる  
まちづくりで挑んだ1年――。



## 岡垣交番の駅前への移転

299万円

犯罪や青少年の非行を防ぐため、多くの人から要望されていた岡垣交番の移転。平成 29 年 3 月に JR 海老津駅前への移転が完了し、新たな岡垣交番での業務が開始されました。

各取り組みが、第5次総合計画の「まちの将来像」のどの分野に当てはまるかを、右のアイコンで示しています。

 輝き

 安全安心

 心の豊かさ

 計画の推進



## 先進的な 中学校の英語教育改革

1,369万円

グローバル化に対応できる子どもたちを育てるため、中学校の全普通教室に電子黒板を設置するなどのICT環境の整備や生徒への教科書音声CDの配布、外国語指導助手の増員など、中学校の英語教育改革を総合的に推進しました。

今後も継続して取り組み、ICTを活用した英語授業などを定着させ、中学校の英語教育を充実させます。



## 民間保育所施設 整備の支援

5,824万円

待機児童を減らすため、岡垣東部保育所の定員拡大に向けた施設整備を支援しました。平成29年度中に完成し、定員が100人から120人になる予定です。



## 観光ステーション北斗七星 を拠点とした観光推進

5,478万円

町の観光情報の発信や集客イベントを積極的に行うなど、観光ステーション北斗七星を拠点に観光プロモーションを拡大しました。また、保養施設であった臨海荘を、観光振興を目的とした施設にリニューアルオープンしました。



■空き家対策の推進	127万円
■コミュニティバスの運行など	6,615万円
■定住促進対策	3,039万円
■地域福祉計画の策定	307万円
■介護予防サービスの実施	3,024万円 など



■三里松原の保全	370万円
■農業基盤整備の促進	2,232万円
■新規就農者の支援	780万円
■漁港施設機能保全計画の策定	947万円
■プレミアム商品券の発行	1,029万円 など



7,937 万円

災害などの緊急情報や地域情報を速やかに伝える「でんたつくん」の第1期工事に着手し、基地局や中継局などを整備しました。今年の7月から進めている全戸への戸別受信機の設置は、平成31年度までに完了する予定です。



地域情報伝達無線システム  
「でんたつくん」の整備



公共施設等総合管理  
計画の策定

593 万円

公共施設などの長寿命化や統廃合、更新を計画的に行うための「公共施設等総合管理計画」を策定しました。詳しい内容は広報おかがき平成29年7月25日号に掲載しています。



町自慢の地下水  
ブランド化の検討

672 万円

地下水のブランド化に向け、九州大学などと地下水の水質や起源などを調査し、「平均50年～150年前の雨水であること」「ミネラル豊富なおいしい水であること」が分かりました。

今後、この調査結果を町の魅力の一つとして定住促進プロモーションに活用するとともに、地下水の商品化が可能かどうかを検討します。

## その他の取り組み



■自治区やコミュニティへの活動支援	3,419 万円
■おかがき応援寄附金事業の推進	258 万円
■広報おかがきの発行など	732 万円
■ボランティアセンターの運営	611 万円
■岡垣町のPR	219 万円
	など



■副読本教材おかがきナビの作成	312 万円
■子ども医療費の支援	1 億 3,822 万円
■こども未来館の運営など	3,167 万円
■山田第三学童の整備	3,212 万円
■小中学校の施設整備	1 億 4,040 万円
	など

# 決算から見るまちの 財政の今とこれから

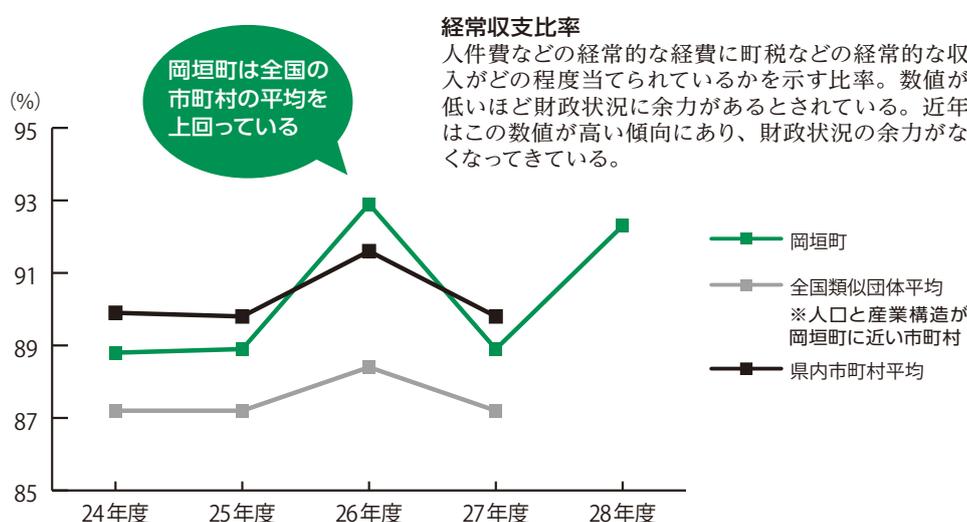
## 単年度収支は赤字に

平成28年度決算は、実質収支額が2億7737万円の黒字でしたが、単年度収支額は1億4684万円の赤字となりました(図1)。当該年度の収入には前年度の実質収支額が繰越金として含まれているため、その額を当該年度の実質収支額から引くことで、当該年度の純粋な収支である「単年度収支額」が分かります。また、財政状況の余力を示す経常収支比率は、前年度に比べ3.4ポイント増加。92.3パーセントと厳しい状況になっています(図2)。

平成27年度の実質収支額(A)	4億2,421万円
平成28年度の実質収支額(B)	2億7,737万円
単年度収支額(B-A)	-1億4,684万円

※当該年度と前年度の実質収支の差額

(図1) 単年度収支額の計算方法



(図2) 経常収支比率の推移

## 特別会計

### 国民健康保険事業

収入 42億 6,558万円  
支出 43億 5,608万円

国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は加入者の保険税や国・県からの負担金・補助金。そのほか、一般会計からの繰入金3億2,205万円などがあります。主な支出は保険給付費27億1,122万円、共同事業拠出金9億4,493万円などです。平成28年度は9,051万円の赤字となり、平成29年度収入から不足分を補いました。

### 後期高齢者医療事業

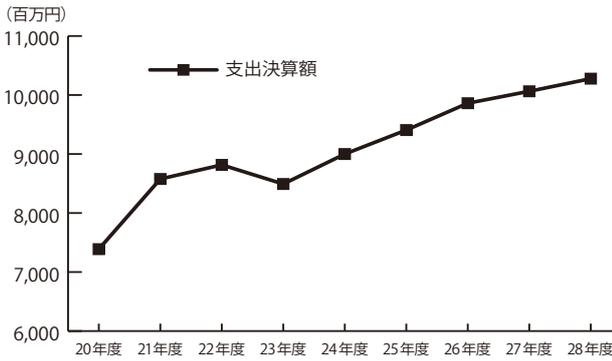
収入 5億 3,928万円  
支出 5億 2,682万円

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は保険料と一般会計からの繰入金。主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。

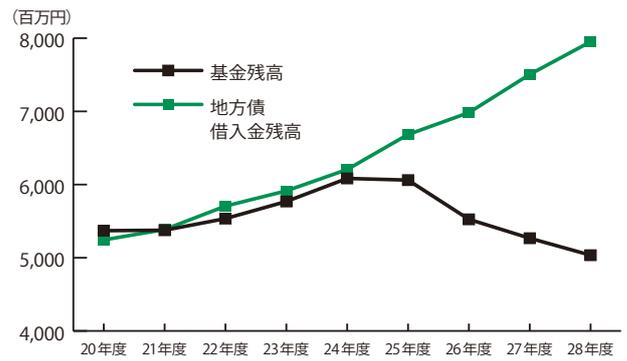
### 住宅新築資金等貸付事業

収入 384万円  
支出 77万円

主に住宅新築資金の貸付金の回収と借入金の返済を行う会計です。



(図4) 支出決算額の推移



(図3) 基金残高・地方債借入金残高の推移

**臨時財政対策債**

地方交付税の不足分を町が国の肩代わりをして借り入れるもの。この返済費用は、今後国から受ける地方交付税で補われる。

**今後も増加する支出**

近年は、町がこれまで積み立ててきた基金を取り崩して財源不足を補っている状況で、基金残高が減少しています。一方で、地方債借入金残高は、全国的には低い水準となつていますが、継続した臨時財政対策債の借り入れなどで増加しています(図3)。

支出面では、年々決算額が増加しています(図4)。今後も少子高齢化による社会保障費の増加や公共施設の老朽化に伴う維持管理・更新経費の増加、地方債借入金残高の増加による借入金返済金の増加が想定されます。こうした中、町税収入をはじめとする財源の確保と経常経費の削減が課題となっています。

**健全な財政運営を目指して**

今後は、第5次総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業を着実にを行い、住み続けたい町としての魅力を高め、将来における自主財源の確保に向けた取り組みを進めます。また、さらなる経常経費の削減のため、今年度策定する「行政改革推進計画」に基づく取り組みを進めます。効率的な行政サービスを展開しながら、長期的な視点での健全な財政運営を行います。

平成 28 年度

**公営企業会計・特別会計**

2つの公営企業会計と3つの特別会計の、平成 28 年度決算額をお知らせします。

**公営企業会計**

※収支金額は税抜き金額。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています

**水道事業**

■収益的収支	収 入	4億 8,360 万円
	支 出	4億 7,833 万円
■資本的収支	収 入	1億 5,381 万円
	支 出	3億 4,136 万円

安定して「おいしい水」を供給するための会計です。主な収入は水道料金。主な支出は浄水場や配水池の維持管理費です。

**下水道事業**

■収益的収支	収 入	9億 8,347 万円
	支 出	8億 8,424 万円
■資本的収支	収 入	5億 5,214 万円
	支 出	8億 9,887 万円

快適な生活を送るための下水道の整備や維持管理を行う会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は下水道の施設工事費、浄化センターの維持管理費です。